

介護施設等情報交換会「外国人とともに働く」in泉区

主催：(公財)横浜市国際交流協会

近年、働く場における外国人の受け入れが進みつつありますが、ともに働くうえでの取組や配慮等は、現場ごとの工夫によるのが現状のようです。この情報交換会では、すでに外国人スタッフの活躍がみられる介護施設等の取組について、職場での日本語習得や日本語でのコミュニケーション、さらには、生活を地域で支える視点の必要性について等、様々な意見が交わされました。将来的には介護分野に限らず、さまざまな就労場面での支援に役立てることも開催の目的としました。

話題提供者として、外国人スタッフが多く働く介護施設の運営者とスタッフの方をお迎えしました。

施設長の高橋さんからは、外国人の方が施設に「導かれるようになって」働くようになったこと、ことばや文化の違いに配慮しながら、場に合わせた指導や環境づくりに工夫をしていることなどをお話いただきました。大切なのは、それぞれの文化、その違いを尊重すること。外国の人のお年寄りへの接し方は、日本の若者より慣れている面があり、その働きぶりは模範となるそうです。また、カンボジア出身のペンさんは、正社員になってすごく嬉しかったこと、今も介護の勉強をがんばっていること、そして、将来の夢はこのよう施設を母国につくること、など、仕事への思いを誇らしそうに話してくれました。

参加者との質疑応答や意見交換でお互いの情報を共有し、最後には、域内の多文化共生への取組や、施設を超えた今後の連携の可能性などについても触れられ、誰もが地域や職場で活躍できる環境作りに向けた取組へと話が広がりました。

介護の仕事



働くペンさん

テーマ

外国人スタッフが活躍するために
～職場でのコミュニケーションの工夫

話題
提供者

高橋好美さん

(特別養護老人ホームレジデンシャル常盤台施設長)
メアス ペンさん (同職員)

日時

2021年2月18日 (木) 15:00-16:45

場所

オンライン (Zoom)

対象

対象地域の高齢者福祉施設、福祉事業所等で
働く方

参加
者数

11人

参加者の声

- 同じ施設の中で、外国人を受け入れる側と、外国人の両方の話を聞けたことがよかったです。
- 外国籍の職員の気持ちが良く分かりました。でも一番は、私達日本人が「外国籍の立場になる。仲間として受け入れる。自分自身も学びである。」という意識を持つことが大切だと痛感しました。

